

平成29年度（二俣川看護福祉）不祥事ゼロプログラム実施状況

○ 項目・目標別実施結果

項 目	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上	公務外での事故を未然に防止する。	職員啓発資料等を基に、打ち合わせや研修会を通じて管理職を含めお互いに声をかけ合う職場環境づくりに努めた。
わいせつ・セクハラ行為の防止	セクハラ、わいせつ行為を未然に防止する。	職員啓発資料等を基に、教育実習前、夏季休業前及び11月末に研修会や事故防止会議を実施し、良好な人間関係の構築に努めた。
体罰、不適切な指導の防止	体罰、不適切指導の発生を未然に防止する。	職員啓発資料等を基に、事故防止会議等を通じて全体に対しての啓発に努めるとともに、個別の指導を行った。
成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	成績処理支援システムでの入力・点検を適切に実施し、指導要録と調査書の作成時の事故の発生を未然に防止する。	成績処理や進路関係処理に関する業務の流れを明確にするとともに、複数による点検を徹底し、適正な業務遂行を確認した。また、調査書作成時の事故を防ぐために、点検担当者によって確認の重点ポイントを定め、未然の防止に努めた。
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	公務外での事故を未然に防止する。	職員啓発資料等を基に研修会を実施するとともに、年末年始などの時期には繰り返し注意を喚起し、交通事故防止に対する意識を高めた。
会計事務等の適正執行	私費会計に関する事故を未然に防止する。	年度当初と私費が納入される5月末に私費会計の事務処理に関する研修会を実施し、処理の手順を確認するとともに、過去の事例等も使いながら事故防止のポイントについて確認をした。
入学者選抜に係る事故防止	願書受付から合格発表までの間の点検体制の整備を進め、事故を未然に防止する。	マニュアルに即した研修会を複数回実施し、手順やポイントを確認するとともに、職員啓発資料等を基に、過去の事例等を紹介し、注意すべき点を明確にした。また、複数による点検を徹底した。
個人情報等の管理・情報セキュリティ対策	個人情報の流失を未然に防止する。	生徒の個人情報の収集状況を確認するとともに、適正な対応がとられているか全職員に面接を行った。教務手帳の職員室内の管理を徹底した。また、定期テストの取り扱いに関しても注意を促し、管理の徹底に努めた。
業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）	生徒に係る情報の共有化を進め、業務の協力体制を確立する。	生徒情報交換会を実施や教育相談チームの結成を通じて、情報の共有を図った。また、各グループ業務において、業務協力体制の構築が図れるように努めるとともに、適切に文書や記録の保管が行われるような体制づくりを行った。

○ 平成29年度不祥事ゼロプログラムの達成状況及び平成30年度に取り組むべき課題

(学校長意見)

今年度は、教務手帳の管理や定期試験等の持ち帰り、メール等の個人情報の管理や情報セキュリティ対策、業務執行体制の確保などに力をいれて事故防止に努めた。特に、ソーシャルメディアの利用に伴うリスクについても生徒とのやりとりを含め注意を喚起した。また、生徒だけでなく大人社会にも利用者が広がりつつあるLINEの利用法については、昨年に引き続き、LINEからの連絡を受け講師を招いて1月に1年生のみを対象とした講演を実施した。来年度もソーシャルメディアの利用に伴うリスクについて徹底的に研修を進めていく必要を感じているところである。

11月の引越しに伴って、校内各所で文書の整理や廃棄を行った。それに先立ち行政文書の廃棄・保存についての研修を行い、適正な処理を行うことができた。入学者選抜においても、事故防止会議の場だけではなく、適時に必要なことを伝えていくように工夫するなど、効果的な指導を心掛けた。

様々な場面を利用して、個人に対しては面接による不祥事防止の研修を行った。職員個々の状況に応じた適切な指導助言により、効果のあがる事故防止研修を実施することができたのではないかと考えている。

次年度においても調査書作成や推薦入学関係の会議資料の作成、点検などでミスのない業務の遂行ができるように、より良い点検体制づくりに取り組んでいきたい。生徒の個人情報の収集に関して、円滑な活動を行いつつ適切な管理ができるように、さらに確認を行っていきたい。また、生徒及び保護者との連絡を密にし、生徒情報を職員で共有するとともに、組織として適切に対応していく取組にも力を入れていきたい。さらに、引き続き入学者選抜の事故防止、私費会計、公務外非行など不祥事防止の点検は今後も重点的に取り組んでいきたい。